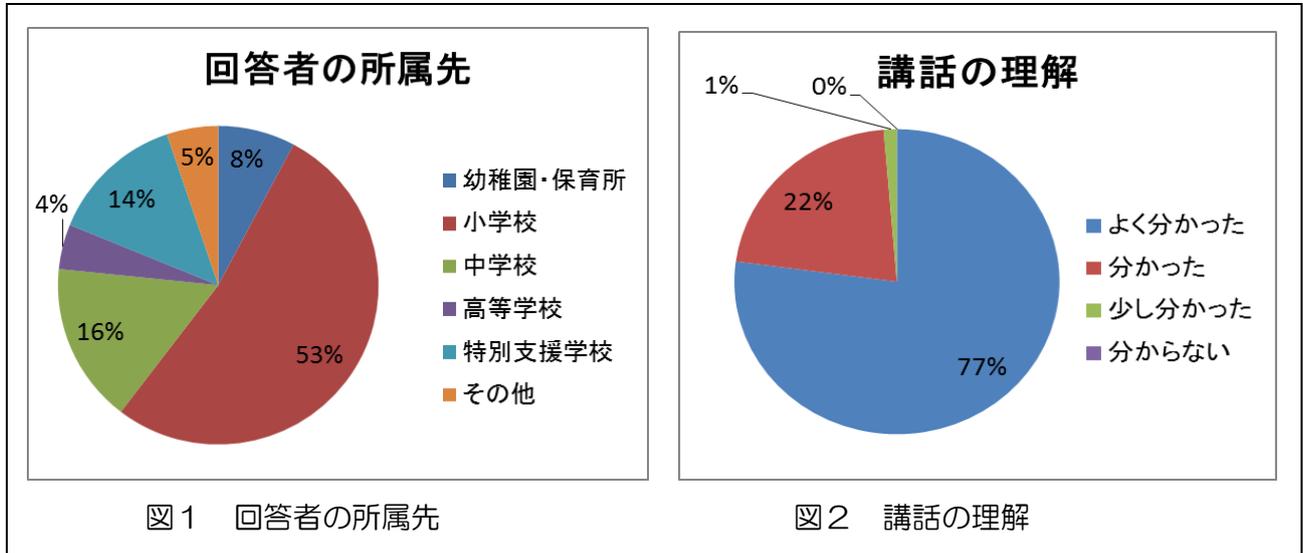


アンケート集計 (151枚回収)

1. 所属先 (図1)
2. 公開講座に参加しての感想
 - (1) 山田先生の話聞いての理解度 (図2)



○感想 (多かったものを中心に抜粋)

- ・子どもの実態・支援の方法、具体例をあげての話だったので、とてもよくわかりました。
- ・目標に向かって、進む道は同じでない、というのが印象に残った。
- ・特別支援教育は、科学的手法でアセスメントをしっかりし、具体的な手だてを考えることが、効果的な支援につながることを学びました。
- ・今回、公開講座に参加させていただき、通常教育の中でのユニバーサルデザインと合理的配慮の支援の仕方やその子にあった援助の仕方が必要だと感じました。
- ・配慮さえ行えば、学習のつまずきがなくなるかと思っていました。個々のつまずきに、目を向け、きづいてあげることの大切さを学びました。
- ・長時間を気をそらさず、聞くことができました。先生の話術に惹きつけられました。
- ・アセスメントから実践までのプロセスがよくわかりました。記録・保持・想起のところがわかりやすかったです。
- ・正しいアセスメントなしには、子どもの困っていることを解決できず、さらに子どもを追い詰めてしまうことがよくわかりました。時系列でそのこの言動の背景を捉えるということを職員と共有しながら、学校で対応していきたいです。
- ・アセスメントは検査とばかり思っていました。先生のお話を聞いて、子どもの特性を知り、子どもの立場に立って考えるアセスメントをしていこうと思いました。
- ・ユニバーサルデザインと合理的配慮の違いについての話、分かりやすかったです。ユニバーサルデザインと合理的配慮を合わせて授業をしていくことが学級経営にもつながっていくのだと感じました。
- ・授業のビデオがとても良かったです。指導案付きで、「予想される子への対応」が書かれているのを見ながら、ビデオを見ることができたので、手立てが分かりやすかったです。
- ・ユニバーサルデザインの工夫は、対象生徒だけでなく、クラス全体の集中した空間、安心できる空間につなげると思いました。
- ・“いきなり指導”や“できない体験”はダメと言われて、知らぬうちに自分はやっていたので

は!?!と「ドキッ」としてしまいました。日頃“この生徒は私の授業を楽しんでいるのか?”と自問自答しながら進めていますが、色々な手法で教えるその方法の“是非”を問う「実験台」にしていたのでは!?!と心が痛みました。

(2) 今回の講演で得られたことの活用

- ・とてもよかったです。
- ・算数科のユニバーサルデザイン授業に取り組んでいます。配慮が必要な子ども達の実態から、視覚化・共有化等の支援方法を考えていましたが、その子ども達の間違い分析・検討をしっかりと、特徴をとらえ、状態を明らかにして、支援の方法をもう一度考えていこうと思いました。
- ・支援の必要な子に毎時間、教材を準備することの必要性は感じたのですが、その準備が果たして自分にできるか・・・とってしまいました。
- ・気になる生徒がちらと浮かんできたので、重ねてみたいです。 ・子どもの実態を把握して、生かしていきたいです。
- ・漢字の指導法など、具体的で分かりやすかったが、きちんとした分析ができるようにないと子どもの視点に立ったとはいえない。正しい分析ができるかは・・・。
- ・書字障害疑いの生徒に対しての指導法は特に生かせると思いました。最低レベルの見本の提示と始める前の確認を行っていききたいと思います。
- ・本校では、発達障害の診断有の生徒が1クラスに集まってしまい、指導支援の難しさを痛感していました。まず、関わる先生が集まってアセスメントをしていこうと思います。
- ・今後仕事の中で、その子にあった対処をしていきたい。 ・子どもの状態・原因を見極めていきたい。
- ・保育所ではありますが、生かしていきたいと思いました。
- ・実際にビデオでみた授業のように、子ども達が集中できる工夫「わかった、もっとやってみたい」と感じる工夫を取組んでみたいと思いました。
- ・視覚的支援の方法や教材提示の方法など参考になりました。
- ・具体的な子どもの様子に対して具体的な手だてを教えていただき、ためになりました。
- ・中学生の発達障害のこどもには、納得させることが必要だということは、今後生かしていけると思った。
- ・つまずきがある子のどこが何がつまずきになっているか気付いてあげられるよう努めていきたい。
- ・どの子どもにも焦点をあてて授業をつくっていくか。
- ・字の整わない子への対応など実践してみたいと思います。 ・具体例が共感できると思った。
- ・漢字の覚え方をやってみたいと思います。 2
- ・自分のクラスにも今回のお話の中に出てきた子どものような特徴をもつ子がいるので、支援の仕方の工夫に生かしたいと思いました。こちらの手だての用意ばかり優先させてしまわないよう、アセスメントをしっかりと意識します。
- ・子どもが現している困った行動を多面的に見て、こどもが困っていることに対して支援しているようにしたいです。行き当たりばったりの指導を改めて、まずアセスメントを丁寧にしたいです。
- ・まず、通常学級の先生方にこの資料を提供し、参考にしてもらおうと思います。子どもたちの特性を考え、興味を持続させるため、あえて見せない視覚支援というのも面白いと思いました。
- ・自分、クラスの子、我が子への対応。 ・子どもの実態からはじめるということ。
- ・困っていることは、こどもに聞くことから、何をしたらいいか考えられる。
- ・一人一人のアセスメントを再確認し、こどもが自信をなくさない指導を展開していきたいです。
- ・アセスメントから活かすために、間違い方をみつけること、想起困難を科学的手法を使い、支援していくこと。
- ・まずは、子どもの実態をきちんと把握すること。実態把握をした上で、どのような支援が必要なのか、教材研究をしっかり行うことが必要だということがわかった。具体的な手立てがとれるようにしたい。
- ・アセスメントの大切さを意識して、子どもの支援に取り組みたいと思います。また、子どもの視点にたった学習を行っていくための具体的支援のお話をたくさん聞かせていただき、今後の学習の参考となりました。

- ・分析力を身に付けたいです。 ・アセスメントをしっかりとしようと思った。 ・アセスメントをしっかりと分析に行う。
- ・アセスメントをきちんとしていこうと思います。できない体験をつませないように…
- ・漢字指導の方法、早速やってみます。 ・漢字指導を生かしたい。
- ・班の意見のまとめを小さいホワイトボードに書かせ、全班のボードを前の黒板に貼らせ、班の意見の集約をするのは活かせると思いました。
- ・字のかけない子の指導のやり方、国語のテストの解答のやり方についての指導。
- ・今回は小学校の授業が多かったですが、幼稚園でも行かせるところを活かしていきたいです。
- ・具体的な手だてをたくさん教えていただいた。
- ・支援が必要とする幼児に対して、寄り添うだけではなく、アセスメントをすることを今後の保育に生かしていきたいと思います。
- ・本校の主題研も、算数科におけるユニバーサルデザインの授業をしているので、2 学期以降参考にしていきたいと思う。
- ・一斉に学習することが難しい場合には、複数の教材を準備しておくことが大切だと思いました。子どもをよく見ることが大事だと思いました。
- ・また、学校に帰って改めて資料をよみ直したいと思います。
- ・アスペルガーの子、ADHDの子の特徴を捉え、どのように指導していくのか、詳しく教えてくださったので、似た子がいた場合にしっかりといかしていきたいと思います。
- ・具体的な活動について、アセスメントを配る。テレビでみた授業のようにホワイトボードを使う。
- ・2 学期の指導案づくりにユニバーサルデザインと合理的配慮を是非含めていきたい。
- ・生かしたいけれど、自分のアセスメントする力で乏しいので…
- ・授業の作り方、学級のルールづくりを2 学期もう一度やってみます。
- ・具体的に教科指導に生かします。教材の共有化一人一人の子どもが浮かんでくる例示が大変ありがたいです。
- ・診断の有無に関係なく、「そのこ」に向けた適切な支援の必要性を感じました。
- ・具体的な事象を取り上げていただきながらのお話で「あの子にはこんな支援が合うのかもしれない」「この子のためにこんな着地点だといい」と考えながら、聞かせていただきました。
- ・まず、具体的な目当て作りからはじめようと思います。気になる子が集中できるよう工夫を考えようと思います。
- ・今、特別な支援を要する生徒について、もう一度その実態を把握しようと思います。
- ・まず、今日の内容を整理します。自分のしていることに当てはめて振り返り、生かしたいと思います。
- ・生徒への対応に（当たり前ですが）、視覚と聴覚への対応の大切さがよくわかりました。実践で対応したいと思います。
- ・漢字を正確に書けないこどもに今日教えてくださって「認知の力」を身に付けていきたいです。
- ・授業の中で、タブレット端末などを使うことは現状難しいことですが、デジタル教科書の活用などで視覚・聴覚的に訴えかけることは可能であり、今後、多く活用していきたいとおもいました。
- ・学習を集団として、成立させるための手だて。それぞれの子どもの「特徴」をとらえ、そのこに合った手だてをとる。
- ・事例を使った実践を聞いて、子どもの実態が暮らす子どもと重なりました。不注意優勢型ADHDまさにこれだ!! と思いました。保護者と一緒に実践していこうと思います。
- ・子どもの実態把握、アセスメントを第一にということ徹底して支援の方法を考えていきたいと思います。
- ・国語の漢字学習のヒントがたくさんありました。覚えたものを「思い出す」学習をさせたいと思います。
- ・個別に対しては、合理的配慮、授業・学級づくりではユニバーサルデザインとするとう発想。そして、こどもが学ぶということを大事にした話であり、日々生かされると思いました。出来ないことへのダメージを与えないことというのは子ども達への接し方として考えていかないといけないと思いました。

- ・具体的な支援方策（アセスメントに基づくもの）
- ・生徒との関わりの中で生かしたい。
- ・子ども達の対応、アセスメントなど生かしていきたいです。
- ・アセスメントをもっと丁寧にとり、こどもがわかるにつなげたいと思いました。
- ・学校でのC oとしての仕事に役立てます。今年度はV Dの視点を生かした授業作りをテーマにしています。
- ・幼稚園教育は、一人一人の育ちを丁寧に理解してかかわっていくことを大切にしているので、特別支援教育と似ているものがあると感じます。年長組になると、就学へのつながりがとても重要になるので、個別に配慮を要する幼児に対する合理的配慮を具体的に小学校へ伝え、安心して集団生活が送れるように導いていきたいと思っています。
- ・丁寧に、一人一人の実態に応じた授業指導にあたること、これが、一人一人を大切にすることに繋がる。是非実行したい。
- ・保育所でも困難を抱えている子どもは多くいるので、就学へ向けて、少しでもスムーズに移行できるよう準備（ルール・アセスメントの徹底など）はできるなと思った。又、低年齢の子どもへも活用できるアイデアがいっぱいでした。
- ・ルールを入れて、しきりなおすことの大切さを2学期に生かしていきたい。（子ども一人ずつよく見て。）
- ・提示などの手立てなど生かしていきます。
- ・学年の始まりに、まずは信頼関係→学級のルール（学校が荒れているのでうちのクラスだけでもと、ここをきちんと抑えています。）を生徒に（私も含めて）「まず守っていきなさい!!」と「学級づくり」をしています。また、授業では、「空白の時間」をなるべく作らないよう、まず私がお手本を示して頑張ってもらっています。これらの手法が“理に叶っている”と確認できましたので、さらに精進いたします。有り難うございました。
- ・今までアセスメントをせずに子ども達と関わっていたと反省しました。2学期から子どもの視点に立って指導したいと思います。
- ・まずは、こどもの実態把握。そこからなぜなのか？を考え原因を見つけることから取り組みを始めることを忘れずにいたいです。
- ・してみたいことがたくさんありました。スロープの説明（差別）納得です。
- ・アセスメントをしっかりしたいと思っています。（私がきちんとできるのか少し不安ですが・・・）
- ・私は、特別支援学級を担任していますが、学校にもどり、通常学級の先生方にユニバーサルデザインの考え方を伝え、一緒に考えていきたいと思っています。（主題研の中で）
- ・通常学級の先生方で、特別支援に拒否感のある方もいます。今回のお話の中で、ユニバーサルと合理的配慮の視点を的確に教えてくださったので、今後伝えていこうと思いました。
- ・ユニバーサルデザイン活用の授業を若手で話し合い、創造していくのはとても良いですね。
- ・アセスメントの大切さ、日頃の観察・具体物からの見取りについて。
- ・こどもの課題を分析する方法、アドバイスの仕方。
- ・普段の学校生活もだが、やはり、授業での教材や展開で活用したいと思った。
- ・日々の声かけなど、具体的で分かりやすかった。漢字のミニテスト、良かれと思ってやっていました。反省です。
- ・アセスメントの大切さ、日頃の観察やそこからの見取りの大切さが分かりました。生かしていきたいと思っています。
- ・こどもを分析する視点→何をそのこにしていけるべきかなど
- ・班活動を通して、授業参加、意識を持てる事を感じ、実践したいと思った。しかし、授業のペースが遅い私には、難しいです。新しい単元の導入で行いたいと思う。
- ・アセスメントをしっかり行うこと。色々ためしていたので、反省して生徒の実態をみて、アセスメントを考えていきます。
- ・アセスメントをとっていききたい。そして、その情報を共有していき、生徒が成長できるよう支援していきたい。
- ・常に勉強の苦手なこどもたちの視点に立って、授業作りを心がけることができると思う。
- ・若い先生方の授業等や授業を見る際に、今日学んだ視点からアドバイスしていきたいと思っています。こども自身の課題にどう向き合い、具体的にどう指導するかたくさんさんのヒントを頂きました。ありがとうございました。
- ・子どもの気持ちに寄り添うこと、理解・集中しやすい空間、環境づくり

3. 北九州市立特別支援学校のセンター的機能として、今後さらにどんなことに期待しますか。
(複数回答可) *別紙「特別支援学校のセンター的機能のリーフレット」をご覧ください。

- | | | | | | |
|-------------|----|------------|----|-----------|----|
| ① 訪問相談 | 56 | ② 来校相談 | 45 | ③ 公開講座の開催 | 65 |
| ④ 特別支援教育連絡会 | 18 | ⑤ 研修会等への参加 | 42 | | |
| ⑥ 教材等の紹介や貸出 | 58 | ⑦ 情報発信 | 39 | | |

- ・公開講座に参加させていただいた際のお話が、非常に参考になったので、回数を増やしていただきたいです。
- ・アセスメントの方法や考え方について、分かりやすく知りたいです。
- ・事例を多く知りたいです。(対応は、他の子どもにあてはまらないとは思いますが)
- ・困ったとき、悩んだときに誰かに相談したいと思う保護者や教師はたくさんいると思います。まず、その相談を受け入れてくれる役割を担って欲しいです。
- ・今後も「わくわくスクール」をよろしくお願いします。
- ・保護者の悩み、教師の悩みを一緒に聞いていただけるような機会を作ってもらいたい。
- ・保護者との面談・相談
- ・今のままで満足です。人員の充実を期待します。
- ・特別支援学校のホームページに教材をのせてもらえると助かります。

4. お気づきの点やご意見がありましたら、教えてください。

- ・会場が暑かった。もう少し涼しいほうがしゅうちゅうできるのではと思いました。今日はありがとうございました。
- ・大変参考になりました。ありがとうございました。 ・本日はありがとうございました。 **5**
- ・是非、高校にも案内をお願いします。
- 空調の効きが悪い。
- ・二学期からやっていこうと思うエネルギーを頂きました。ありがとうございました。
- ・本日はお忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。もっとたくさんのお話を聞きたかったです。本日のお話の内容を日々の指導に生かしていきます。
- ・内容が盛りだくさんで、どれも分かりやすく大切な話だったと思います。もっともっとお話聞きたかったです。来年もぜひどこかで研修をお願いしたいです。 ・内容が多く、時間、気付きの多い研修でした。
- ・本日の研修は、指導の具体例がよく、参加させていただき、有益だったと思います。ビデオで授業の様子を見せていただけのもよかったです。 ・具体的事例がありわかりやすかった。
- ・最後まで聞きたかったし、また、受講したいと思いました。有り難うございました。
- ビデオの視聴の時間ももっとあったらとおもいました。HPなどには、掲載できる映像はないでしょうか？ありがとうございました。
- ・ご多忙の中お話し下さり、ありがとうございました。是非次の機会で、お話を聞きたいです。
- 特支関係の研修の日程が、同じ日だったので本研修の受講者が少なかったのではと思う。とても実のあるものだったので、多くの先生が聞けたらよかったのにと思った。 ・もっと話を聞きたかったです。
- ・大変わかりやすいお話でした。レジュメ全部をお聞きしたかったです。
- ・子どもを知ることが大切だとよくわかりました。ユニバーサルデザインの授業とはなにかを考えていたので、ちょっとすっきりすることができました。まだまだ聞きたいと思いました。ありがとうございました。
- ・後半のビデオ紹介で、視覚支援をせずに集中力や興味関心を持続させる方法が参考になりました。ありがとうございました。
- ・ユニバーサルデザイン化の大切さは、わかっても、行動しあぐねていました。継続できる手法を身に付けたいと思います。
- ・現場のニーズに基づいた研修会でした。また、このような研修会を企画して下さい。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。ホワイトボードは、小2過ぎて見えませんでした。(?)
- 資料を見ると、興味深い見出しがまだ残っていて、時間が足りなくなったこと、とても残念です。保護者との関わりについても、聞きたかったです。
- ・この夏一番分かりやすく、参考になった研修でした。ありがとうございました。
- 例年公開講座がありますが、できれば7月下旬～8月上旬の実施を希望します。(2学期に向けての指導を考える時間があるといいと思います。)
- ・準備等ありがとうございました。お疲れ様でした。 ・また、山田先生を呼んでください。
- ・他にもこのような子には、この対応などの事例を聞きたかったです。
- ・とても楽しいお話でした。来年度、お話の続きが聞きたいです。 ・来年もこの研修を企画して下さい。
- ・2学期から、クラスの気になる子の指導に頑張ります。
- 研究授業への参加。現場で取組んでいる様子を直接見たい。
- ・とても分かりやすく、2学期に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・とても具体的で分かりやすかったです。授業に取り入れていこうと感じました。ありがとうございました。
- ・先生の貴重な経験を惜しみなく、公開していただきありがとうございました。高校では、中学校の連携が大変重要です。幼少中高大や就職先までその子の支援シートが続けばよいと思います。

